

キーワードでみる小・中・高の目標・指導内容の系統表② 「書くこと」領域編

	小項目	小1・2	小3・4	小5・6	中1	中2	中3	高校（国語総合）
目標	書く能力	順序を整理し、簡単な構成を考えて	段落相互の関係などに注意して	文章全体の構成の効果を考えて	構成を考えた的確に	構成を工夫して分かりやすく	論理の展開を工夫して	* 領域ごとの目標は示されていない。
	態度	進んで書こうとする	工夫しながら書こうとする	適切に書こうとする	進んで文章を書いて考えをまとめようとする	文章を書いて考えを広げようとする	文章を書いて考えを深めようとする	
課題設定や取材	課題設定	経験したことや想像したことなどから	関心のあることなどから	考えたことなどから	日常生活の中から	社会生活の中から	社会生活の中から	相手や目的に応じて
	取材・整理等	書こうとする題材に必要な事柄を集める	相手や目的に応じて書く上で必要な事柄を調べる	目的や意図に応じて書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理する	材料を集めながら自分の考えをまとめる	多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめる	取材を繰り返しながら自分の考えを深めるとともに、	
構成	構成のねらい	自分の考えが明確になるように	文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように	自分の考えを明確に表現するため				
	学習活動	事例の順序に沿って簡単な構成	段落相互の関係などに注意して	文章全体の構成の効果	集めた材料を分類するなどして整理するとともに段落の役割を考えて	自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして	文章の形態を選択して適切な構成を	
記述	事実や意見論理の展開等			事実と感想、意見などを区別する	伝えたい事実や事柄について、	事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように	論理の展開を工夫	論理の構成や展開を工夫
	記述の仕方	語と語や文と文との続き方つながりのある文や文章	書こうとするものの中心目的や必要に応じて理由や事例を挙げて	目的や意図に応じて簡単に、詳しく	自分の考えや気持ちを根拠を明確にして	説明や具体例を加えたり、描写を工夫したり	説得力のある文章	論拠に基づいて対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて
	文体・形態引用・資料図表等の活用		文章の敬体と常体との違いに注意しながら書く	引用したり、図表やグラフなどを用いたり			資料を適切に引用	文章の形態や文体、語句などを工夫して
推敲	推敲の観点	間違いなど	① 文章の間違い ② よりよい表現	表現の効果など	表記や語句の用法、叙述の仕方など	語句や文の使い方、段落相互の関係など	文章全体	優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったり
	学習活動	正す	① 正したり ② 書き直したりする	確かめたり工夫したりする	読みやすく分かりやすい文章にする	読みやすく分かりやすい文章にする	整える	
交流	交流の観点	よいところ	書き手の考えの明確さなど	表現の仕方	題材のとらえ方や材料の使い方、根拠の明確さなど	文章の構成や材料の活用の仕方など	論理の展開の仕方や表現の仕方など	自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする
	学習活動	感想を伝え合う	意見を述べ合う	助言し合う	意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりする	意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げる	評価して自分の表現に役立てるとともに、ものの見方や考え方を深める	

* 指導内容の小項目については、学習指導要領や解説に明記されている項目ではありません。系統を細かく見るために、分析の視点として便宜上分けたものですので、留意してください。